

令和2年度 延岡市立島野浦中学校 学校評価書

教育目標「自分のことは自分でできる生徒の育成（自立・自律）」				4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する						
評価項目	重点目標		方策・手立て	アンケート			自己評価		学校関係者評価委員会	
				生徒	保護者	教師	成果と課題	評価	評価	所見
知育	1	みんなで「わかる・できる」授業の実践	ア 授業内に『わかった！できた！』を味わせる取組 イ 教え合い・学び合い・高め合う場の設定	90%	72%	90%	○授業改善より生徒が達成感を味わえる授業が増えた。 ○主題研でも、個に対する支援を充実させることができた。 ●感染症対策の影響で教え合いの設定が難しかった。 ●生徒同士だけで教え合うことが難しい場合が多い。	3	3	○ アンケートの「授業が楽しく、わかる」に対して、生徒と教師が100%なので、十分達成できると判断しても構わない。 ○ 保護者は学力については、強い思いや願いもあるので、さらなる指導方法の工夫改善等の取り組んでいたきたい。 ○ 進学指導の際に、高等専門学校も取り上げてほしい。
	2	個別指導の充実	ア 放課後個別指導(SST・SLT)の取組 イ 各種テストの工夫、学びの見届け・確認 ウ 島中五原則による学習訓練				○SST、SLT で個別指導に十分に取組めた。 ○学びのサイクルの中で学びの見届けや確認ができた。 ○テストは生徒の実態に応じたもの(英語の授業において、「字体、大きさ」の工夫を作成することができた。	3		
	3	自立した学習者の育成	ア 家庭学習での率先した自学自習				●全員が率先した取組まで至らなかった。家庭での見届けが不十分であった。	2		
	4	読書活動の推進、読解力向上の手立て	ア 全校読書、朝読、読み聞かせの実践				○島野浦ラジオで、読解力や表現力の育成を図った。 ●感染症対策のため、全校読書や読み聞かせが実施できなかった。	2		
	5	委員会活動と連携した学力向上への取組	ア 学習委員会企画の学力向上への取組の実施				●実施することはできたものの(交換学習)、内容をもっと充実したものにしたり、工夫を加えたりすることもできたと思う。	2		
徳育	1	礼儀と基本的生活習慣の徹底	ア 心からの「あいさつ」「返事」「清掃」の指導 イ メディアコントロール週間の実施	92%	92%	100%	○普段から生徒は、あいさつ・返事・清掃がよくできている。 ○メディアコントロールは個別面談を活用した充実した実践ができた。 ●全体の場での問いかけに対する応答があまりできない。	3	3	○ 生徒に自信をもたせるためには、教師自身も自信をもって発言や指導をしなければならぬので、教師自身の研修等も頑張してほしい。
	2	道徳科を要とした人間教育の推進	ア 豊かな共生能力を育む道徳教育実践および指導価値22項目の確実な向上 イ 教育活動全体での非認知能力の育成 ウ いじめ対策(予防・早期発見・早期解決)				○幅広い視野から多面的・多角的に考える学習が実践でき、担任以外の道徳も行うことができ、子どもたちの意欲を高めることができた。 ○月1回の校内生活アンケートの実施、毎週木曜日に生徒理解を全職員で行い、情報を全職員で共有した。 ●固定した人間関係によるなれ合いがあるため、社会性を身に付ける場を設定しなければならない。	4		
	3	自己肯定感・自己有用感の伸長	ア 自信をもたせる指導の工夫 イ 認め合い・高め合う人間関係の醸成				○各種行事で重要な役割を与え活動させることや全体の場で発表させることで、自己肯定感を高めることができた。	3		
体育	1	体育の授業や部活動での体力・競技力の向上	ア 全校体育での授業導入時の体力向上トレーニングの継続、体力向上プランの実施	95%	95%	99%	○コロナを配慮したトレーニングを継続的に実践できた。 ○部活動は少ない部員数でも日々の活動は充実していた。(基礎体力トレーニングも行った。)	3	3	○ 生徒数が少ないので、個人の体力等には十分に指導が行き届くが、チームスポーツの経験が少ないので、高校へ進学してから心配する部分もある。 ○ 人を思いやる気持ちが育っており、上級生が下級生に教えている場面をよく見かけます。
	2	計画的な食育活動と「弁当の日」の充実	ア 保護者指導による「魚さばき体験」の実施 イ 目的を明確にした「弁当の日」の実施				○感染症対策により未実施			
	3	防災意識を高め、命を守る活動の推進	ア 学期1回の避難訓練の実施 イ 「命の教育週間」との関連的指導 ウ 人権感覚の高める指導				○身近なこととの関連により、避難訓練の充実度が上がった。(特に、消火活動の体験) ○性教育や人権学習(LGBTQ)を通して、意識が高まった。	3		
連携	1	小中、保護者、地域と連携した「自立」につながる教育	ア 小中合同行事の計画・準備・運営への連携 イ 年少者のサポートをすることの啓発、称賛 ウ 各種行事での保護者と地域との連携	100%	100%	100%	○合同行事の回数が少なかったが、小・中学校、保護者、地域と連携した取組が実践できた。 ○保護者の関わりが、生徒のやる気につながっている。	4	4	○ コロナ禍での活動自粛は、学校の責任ではないので、その中で、学校が十分に取組んでいると捉えて構わない。
	2	地域資源を活用した体験活動の充実とふるさと教育、島への貢献活動の充実	ア 保護者・地域人材を活用した行事の実施 イ 学校ホームページによる発信	100%	100%	100%	○感染症対策で、島への貢献活動が少なかったが、遠見場山整備活動で貢献活動が実施できた。ホームページは随時、更新することができた。	4		